

「東部中学校区6小学校 再編活性化 意見聴取会」 議事録（要点筆記）
（朝見小学校）

日時：令和6年6月7日（金）19:00～20:40

場所：朝見小学校 体育館

出席者：

【地域住民・保護者】29人

【学校関係者】2人

【教育委員会】教育長 中田雅喜

事務局長 刀根和宜

事務局次長 金谷勝弘

教育総務課長 西浦有一

教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸

教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美

教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

【県議会】田中祐治

【市議会】奥出かよ子 西口真理 山本芳敬（五十音順・敬称略）

挨拶：教育長

本日は、お集まりいただきありがとうございます。

今、10年先が予測できない時代です。そんな時代を生きる子どもたちには、「どんな力が必要なのか。」「どんな学ぶ環境が必要なのか。」といったことを、多くの方々にご意見をいただき、丁寧に議論重ねてきました。

方向性がようやく出てきましたので、本日はご説明をさせていただきます。

皆様からの忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

教育委員会自己紹介

資料説明：事務局

資料『松阪市立東部中学校区6小学校 再編活性化に関わる意見聴取会』

（4ページ）

・全国的に児童生徒数が減少していることから、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」（文部科学省）が策定された。

・松阪市教育委員会では、令和2年度に検討委員会を立ち上げ、外部の委員による検討を重ね、令和5年3月に「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定した。

（2・3ページ）

・松阪市では、4人グループ5つで議論を深められるなどの理由から、「最低限確保したい学校規模」

を1学級20人程度とした。

・東部中学校区6小学校のうち5校が対象校であることから、東部中学校区全体で再編活性化の検討を開始した。掃水小学校は対象校ではないが、学校規模としては「小規模校」に分類される。

(4ページ)

・令和5年度は、各小学校区において、学校との関わりが深い方々から意見交換を開始した。

・住民自治協議会からの提案を受け、「東部中学校区学校活性化協議会」を設置し、各小学校区から保護者代表・住民代表・学校運営協議会代表・学校代表が集まって議論を重ねた。

・第3回東部中学校区学校活性化協議会において、再編活性化の方向性が確認された。

(5・6ページ)

・「6小学校を1校に統合する」という意見もあったが、最終的に「複式学級を早期に解消する」ことを最優先に、「6小学校を2校に統合する」方向で、学校活性化協議会で案を取りまとめていただいた。

・学校活性化協議会内に設置する準備部会は、地域・学校運営協議会・保護者・学校の代表者で委員を構成する。検討内容としては、校名・校歌・カリキュラム・学校運営協議会組織・学校予算・学校備品・通学路・スクールバス・学童・PTA組織などがある。

・『学校活性化協議会だより』で節目節目に、ホームページで随時周知を図る。

・配慮すべき主な事項⑤「新入学児童に対する配慮」については、統合が具体的になるにつれ、要望する声をいただくようになった。今後、準備部会で協議いただきたい。

(8ページ)

・統合当初は、教室が不足するため、校舎を増築する必要がある。

(9ページ)

・「地域総ぐるみでの教育」として、コミュニティ・スクール、探究的な学習、小中連携教育を3本柱として取り組む。

・コミュニティ・スクールについては、中学校区で連携・協働できる組織を構築する。今後は、クラブ活動の地域移行やPTA組織についてなども、学校運営協議会で検討をしていくことが考えられる。

・校区が広がることを利用して、現在取り組んでいる「探究的な学習」をさらに充実させていく。それにより、子どもたちと地域の方々が繋がる機会にもなる。また、子どもたちの地域に対する誇りや愛着心の育成にもつながる。

・コミュニティ・スクールや探究的な学習を支えるために、「小中連携教育」を推進する。また、就学前教育との連携も図る。

1年をかけて、保護者、地域住民、学校運営協議会委員、学校活性化協議会委員の方々との議論を進めてまいりました。本日は、「子どもたちのより良い教育環境の実現」の観点から、皆様のご意見をお聴かせください。

質疑応答

参加者

朝見小学校の子どもたちの通学はどうなるのか。スクールバスになるのか、これまでと変わらないのか。

児童数が増えると児童の送迎も増えると思う。この辺りは道も狭く、危ない。

事務局

朝見小学校の子どもたちの通学については、これから議論の中で決めていきますが、基本的には現状通りだと考えています。

朝見小学校は駐車場が広いとは言えず、現在も周辺をお借りするなどして利用している状況です。統合後に、保護者の送迎が増えることは想定していますので、なるべくご不便をお掛けすることにならないよう、教育委員会も周辺を把握し、検討していきます。

参加者

個人的な希望だが、朝見小学校の名前は残しておいてほしい。

4つの小学校が集まるので、朝見幼稚園が再開できるのではないか。

事務局

校名については、教育委員会として決めたものではありません。今後、準備部会で検討していただくこととなります。

朝見幼稚園の再開については、教育委員会として今お答えすることは難しいです。(担当部署である) こども局へ伝えさせていただきます。

参加者

これまでの意見聴取会で出された意見やその回答を教えてください。

6年間自治会長をしていたが、情報が無かった。機殿ではアンケートを取ったようだが、教育委員会から住民に対するアンケートを取ってもらった方がよかったのではないかと思う。今からでも遅くはない。

体操服について、令和8年度に6年生になった子どもは、体操服が1年間しか使えない。案として、統合後6年間は旧の体操服でいき、その後新規で揃えるのがベストだと思う。

教育長

体操服についても、準備部会で議論をしていただいて、決めていきます。これまでも、いただいたご意見をもとに議論をしてきました。今後も、いただいたご意見をもとに教育委員会としての方針をつくっていきます。

今、学校は「こうしないといけない。」ということが無くなってきています。制服もそのひとつです。私の思いとしては、「統合したので新しい体操服を買わないといけない。」という判断はないと考えています。体操服についても、多様性を認めていくべきだと思います。

いずれにしても、準備部会での議論になりますが、教育委員会からも他市の事例や情報をしっかり提供していきます。家庭での経済的負担や費用対効果の視点を踏まえて、しっかり判断していきます。

これまでずっと大切にしてきたことは、なるべく多くの方の意見をもらうことです。(基本方針策定時の)パブリックコメントでも288件のご意見をいただきました。今後も、ご意見をいただく機会を作り、便りやホームページで情報発信をしていきます。

事務局

他の会場で、出されたご意見を紹介します。

・学校が無くなることで、子どもの声が無くなるので寂しい。運動会や文化祭などの行事が無くなるので寂しい。

→統合校と地域が関わりを持てるようにしたことで、解消することができた先行事例もあります。

・昨年度の議論で出された「統合した場合のメリットやデメリット」には、どのようなものがあったか。

→メリット…競争意識が芽生える、交友関係が広がる、知識の引き出しが増える、中学進学時の不安減る、男女比のバランスが取れる、スポーツや合唱ができる、多くの先生から教えてもらえる

→デメリット（不安な点）…人間関係が心配、先生にしっかり見てもらえない、仲間外れやいじめが起きるかもしれない、通学距離が長くなる、バスに乗り遅れたらどうするのか、地域の行事はどうなるのか

・（漕代地区での意見聴取会において）地域行事などは、掃水住民自治協議会と調整をしていかないといけない。

→松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校では、地域のイベントに子ども達を招待し合うなどの交流も始まっています。

・掃水小学校は受け入れる立場なので、大人が「受け入れてあげる。」となると、その意識が子どもたちに移ってしまうかもしれない。受け入れ側の姿勢が大切である。

全体を通して、通学路やスクールバスに関するご意見が多くありました。

教育長

意見聴取会では、「子どもの状態をしっかり見てほしい。」というご意見もありました。カウンセラーや相談員をしっかり配置していきます。また、教員の定数は国が決めています。統合においては「激変緩和」の加配をいただくことができますので、県に要望して子どもたちの学びをしっかり支援していきたいと思います。

参加者

朝見小学校の校舎を活用することになっているが、朝見小学校の校舎の優位性が分かりにくい。なぜかと言えば、朝見小学校の運動場は狭い上に、教室を増設することでさらに運動場が狭くなるのが懸念される。また、運動会や文化祭などの保護者参加のイベントにおいて、駐車場不足がこれまで以上に加速する可能性がある。

朝見小学校の子どもたちは徒歩での通学が基本であるとの発言があった。気になる点として、西黒部町は案外朝見小学校に近い。逆に、新屋敷町、立田町才田地区、和屋町和屋団地は遠い。現在の学校で線引きするのではなく、各集落への距離という観点で、スクールバスの対象者を考えていただく必要があると思う。下七見町と学校との距離を考える際には、新屋敷町の隣にある下七見町の小さな集落を考慮したり、児童の有無を考慮したりする必要がある。このように、スクールバスの距離基準を明確にしていけないといけない。

スクールバスの運行本数や、乗り遅れた場合の対応などの課題がある。また、朝見小学校周辺の道路は狭く、普通車同士の対向が難しい所もあるので、スクールバスが入ってくると危険である。そこに朝

見小学校の7つの地区の子どもたちが集まってくるので、子どもたちの事故防止対策をどうしていくのか。

総合的に見て、土地が不足することが懸念される。統合までの2年間で協議が間に合うのか。

三重中学校においては、送迎時の周辺道路での乗り降りを厳重に禁止している。朝見小学校では、そのような対策を取るのか。

4校の避難所としての機能を、どのように維持していくのか。廃校になった学校の電力使用量は落ちると思うが、避難所として活用するのなら電気契約はどうするのか。

事務局

朝見小学校の優位性としては、校舎が最も新しいことがあります。また、児童が最も多いことから、他の学校になればたくさん子どもたちが移動しなければいけなくなります。教室数については、掃水小学校だけが複数学級対応なので、いずれの学校であっても増築が必要になります。

運動場は他の学校に比べて狭いですが、児童数に対して狭いと認識ではありません。狭いなりに工夫をしながら使っていく形になろうかと思えます。

運動会や文化祭での駐車場については、現在もご不便をお掛けしています。児童数が増えたら、さらにご不便をおかけする可能性もありますので、準備部会で調整していきます。また、コミュニティ・スクールでも検討していくことができると思えます。

スクールバスについては、準備部会で決めていきます。児童がいる年度、いない年度などもありますので、毎年度見直しをしていく形になろうかと思えます。なお、朝見小学校の児童については、原則徒歩での通学を想定しています。

スクールバスの運行台数は決まっていません。先行事例では、スクールバスをドアツードアで拾っていくことで、子どもたちの肥満や体力不足が報告されていますので、ある程度歩くことも必要だと考えています。また、通学団での登下校でしか得られないものもあると思えます。ですので、スクールバスについては、全ての在所を回っていく形ではなく、何か所かで拾っていく形が考えられると思えます。

周辺の道路が狭いことは事実としてあります。地域のことを把握してみえる皆様のご意見をお伺いしながら、より良い方法を一緒に考えさせていただきたいと思えます。

電気使用量について、避難所になった際には、教室も使うことになるので、使っている学校と使っていない学校での差はないと思えます。学校跡地の活用については、用途が決まるまでは教育委員会が管理し、決まった後は所管する部署に引き継ぎます。おそらく、電力の契約はそのままになるのではないかと思います。

参加者

運動場が狭いことについては、どのように解決していくのか。

事務局

運動場が広いに越したことはありませんが、児童数に対しては十分であると認識しています。

教育長

松阪市総合運動公園など、弾力的に使っていけるようにしていきたいと思えます。

いただいたご意見は、貴重なご意見です。教育委員会では把握できていない地域の課題も出していた

いただきました。ありがとうございました。

今後の準備部会で議論をしていただく際に、大切にさせていただきます。また、教育委員会としても、対応策を検討させていただきたいと思います。

参加者

いくつかの教室を増設するのか、どの程度の規模のものを増設するのか、いつぐらいから工事を始めるのかは、決まっているのか。

事務局

教室が3つ足りない計算です。どのように増設するのかを、担当の部署と検討しています。工事については、令和7年度の夏休みに集中的に行うことになろうかと思っています。

参加者

夏休みだけで工事は終わらないと思う。
まちづくりや公民館活動などがあるので、工事の予定を聞かせていただきたい。

事務局

大きな工事は夏休みになりますが、その前後にも工事があると思います。

参加者

今日出されたご意見に対する答えは、いつ、どのように報告されるのか。
また、令和8年度に統合したら終わりではなく、どのようなアフターケアを考えているのか。

事務局

正式に方向性が決まるのは、この夏頃になると思います。

その後、速やかに協議・調整に入っていきます。比較的時間のかかる項目や、「新入学児童に対する配慮」などを優先的に協議・調整していきます。

決まった内容については、随時ホームページに載せていきます。また、『学校活性化協議会だより』を『広報まつさか』と一緒に各戸配布することで、周知を図っていきます。

参加者

学校からも『学校活性化協議会だより』を配ってもらえるのか。

事務局

今回の意見聴取会のチラシと同じように、学校からも配布させていただきます。

統合したら終わりではなく、新しい学校の始まりです。準備部会でしっかり考えていきますが、準備部会で考えたことが統合後に上手くいかなかった場合には、学校運営協議会で議論をしたり、PTAで議論をしたりしながら改善していければよいと思います。もちろん、教育委員会としてさせてもらえることがあれば、一緒に汗をかいていきたいと思っています。

参加者

活性化協議会に声を届けるためには、どうしたらよいか。

3年ほど前から、地域の協力も得ながら朝見小学校の体操服をリサイクルする活動をさせてもらっている。個人的には、「体操服はいらない。」と思う。基準になる服があれば十分だと思う。

このような、小さな声をどのように届けたらよいのか教えてほしい。

教育長

小さな声ではありません。何かあれば教育委員会へ直接お電話ください。学校を通じて伝えていただくことも可能です。

教育の不易と流行を見極めながら、「新しい学校をつくる」「新しい子どもたちの教育環境をつくる」という観点で、地域の方も参加していただいて、準備部会でしっかり議論をしていきたいと思います。

いただいたご意見は、オール松阪の問題として、これからの改革に繋げていきたいと思います。

挨拶：局長

貴重なご意見たくさんいただき、ありがとうございました。今後の準備部会等での協議にしっかり繋げていきたいと思います。